広域科学専攻 博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成
事後報告書（生命環境科学系 岡ノ谷研究室 修士 2 年 藤井朋子 31-156734）

2016 年 11 月 11 日

鳴禽（小鳥）の音声コミュニケーションに関する神経科学的・行動学的研究の研究会に参加した。後述の北米神経科学学会のサテライトシンポジウムとして開催されたものであった。この研究会は鳴禽の研究者が一堂に会する数少ない機会であり、研究の動向について情報を収集し、実際にどのように実験をおこなっているのか、生の声を聞くことができた。また、参加者が互いに顔を覚えられるくらいの規模の研究会で、同分野の研究者と交流をはかることができた。

2016 年 11 月 12 - 16 日

神経科学分野で世界最大である北米神経科学学会の 2016 年大会に参加した。3 万人以上が参加する大規模な学会で、エネルギーにあふれるものであった。この学会へ参加するのは今回が初めてであったが、専門分野の内外ともに研究の最先端を目の当たりにし、大変刺激を受けた。会期を通じて多くの発表を聞きにいき、研究の詳細な内容を含めて、たくさんの研究者と直に議論をすることができたことは貴重な経験となり、自分の研究を見つめなおすきっかけにもなった。私自身は、卒業研究および修士研究の一部として実施してきた研究の成果について口頭発表をおこない、フィードバックを受けることができた。日々の研究の緊張感とモチベーションが高まるような経験になったと感じている。